※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３５

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校新倫理」新訂版（清水書院）						
副教材等	「テオーリア　最新倫理資料集（第一学習社） 「高等学校 新倫理 新訂版 ワークノート」（清水書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

考えよう。対話しよう。行動しよう。この時間で学んだことを自分の人生にいかしてほしい。少しでも、みなさんの人生に彩りが生じればうれしい。

そのためには、教科書、資料集、その他自分の興味のままに本を読もう。言葉がないと概念もできない。語彙を増やそう。その分世界は広がっていく。

２　学習の到達目標

・教科書や資料集に記載してある原典資料を通して、哲学に対する関心を養う。
・哲学対話を通して、他者の視点から自らの素朴概念を再構築し、不安定な現代社会に対応ができる思考力、表現力、判断力を養う。
・先哲の思想から、自らの人生を善いものにするための技能、知識を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方民を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。これからの生き方のヒントとなるように、本の内容、著（作）者、概要を理解している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	振り返りシート レポート	定期考査 振り返りシート レポート	定期考査 振り返りシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	現代に生きる自己の課題 人間としての自覚と生き方	＜人間とは何か＞ 青年期の課題と自己形成 　青年期、自己の理解 人生における哲学 　ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズム 人生における宗教 　ユダヤ教、イエスの思想 　イスラーム、仏教 人生の知恵 　孔子と儒家の思想 人生における芸術	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:社会的事象とつなげて考えているか b:自分事として捉えているか c:原典の文章から思想内容を読み取れているか d:教科書・資料集の知識を理解しているか	振り返りシート 提出物ト 定期考査
2	現代社会と倫理	＜現代の倫理的課題＞ 現代に生きる人間の倫理 　宗教観の転換、科学、事実と経験 　民主主義、自己実現、幸福と功利、社会主義、実存主義 現代に生きる人間の倫理 　社会参加、生命への畏敬、価額観の転換 現代の諸課題と倫理 　生命と倫理、環境と倫理、現代の家族とその課題、地域社会の変容と共生、情報社会とその課題、グローバル化の時代と倫理、人類の福祉と国際平和	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:社会的事象とつなげて考えているか b:自分事として捉えているか c:原典の文章から思想内容を読み取れているか d:教科書・資料集の知識を理解しているか	振り返りシート 提出物 定期考査

※令和３年度以前入学生用

3	国際社会に生きる日本人の自覚	＜日本の風土と外来思想の受容＞					a:社会的事象とつなげて考えているか b:自分事として捉えているか c:原典の文章から思想内容を読み取れているか d:教科書･資料集の知識を理解しているか	振り返りシート 提出物 定期考査
		古代の人々の考え	○			○		
		仏教の移入　土着化	○		○	○		
		儒教の伝来と朱子学　国学	○		○	○		
		都市庶民の思想　農民の思想	○		○	○		
		西洋近代思想　啓蒙思想	○	○	○	○		
		近代的自我の成立	○	○	○	○		
		現代の日本と日本人としての自覚	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。